

JIS Q 9100(航空・宇宙・防衛;品質マネジメントシステム)要求事項—概要

4 品質マネジメントシステム(QMS)	
4.1 一般要求事項	組織は、ISO9001規格の要求事項に従ってQMSを確立し、文書化し、実施し、維持し、有効性を継続的に改善する。 組織のQMSは、顧客及び法令・規制上の要求事項も取り扱う。 組織のプロセスを明確にし管理する。 アウトソースしたプロセスも管理する。
4.2 文書化に関する要求事項	
4.2.1 一般	QMSに必要な各種文書を確立し、維持する。
4.2.2 品質マニュアル	QMSの概要(適用範囲、プロセス間の関係など)を記載した品質マニュアルを作成し、維持する。
4.2.3 文書管理	QMSに必要な文書を管理する。 管理のために“文書化された手順”を規定する。
4.2.4 記録の管理	QMSに必要な記録を管理する。 管理のために“文書化された手順”を規定する。 供給者によって作成・保管される記録の管理方法も規定する。
5 経営者の責任	
5.1 経営者のコミットメント	経営者は、QMSの構築・実施、有効性を継続的に改善することへの約束の証拠を示す。
5.2 顧客重視	経営者は、顧客満足の向上という目標に向けて、顧客要求事項が決定され、満たされていることを確実にする。
5.3 品質方針	経営者は、企業理念に基づいて、品質方針を設定する。
5.4 計画	
5.4.1 品質目標	経営者は、品質方針に基づき、品質目標を設定されていることを確実にする。
5.4.2 品質マネジメントシステムの計画	経営者は、品質目標及びISO要求事項を満たすためのQMS計画を策定する。また、QMSの変更時には、完全に整った状態を維持する。
5.5 責任、権限及びコミュニケーション	
5.5.1 責任及び権限	経営者は、QMSの組織上の責任・権限を明確にし、社内に周知する。
5.5.2 管理責任者	経営者は、品質管理責任者を任命し、QMS管理の責任及び権限を与える。
5.5.3 内部コミュニケーション	経営者は、QMSの有効性に関する情報交換が社内で行われるように、社内コミュニケーションのプロセスを確立させる。
5.6 マネジメントレビュー	
5.6.1 一般	経営者は、QMSが継続して適切であり、妥当であり、有効であることを確実にするために、定期的にマネジメントレビューを行う。
5.6.2 マネジメントレビューへのインプット	マネジメントレビューでは、関係者は必要な情報を確実に報告する。
5.6.3 マネジメントレビューからのアウトプット	マネジメントレビューの結果として、社長は必要な事項を確実に決定し、処置させる。